みちのく未来基金　第6期生進学先

赤門鍼灸柔整専門学校
石巻専修大学
岩手医科大学
岩手県立産業技術短期大学校
岩手県立大学
岩手保健医療大学
岩手リハビリテーション学院
大宮こども専門学校
大宮スイーツ＆カフェ専門学校
尾道市立大学
金沢大学
神田外語大学
北里大学
北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ
北日本ヘア・スタイリストカレッジ
杏林大学
群馬大学
神戸動植物環境専門学校
国際医療福祉大学
埼玉大学
産業能率大学
実践女子大学
尚絅学院大学
城西国際大学
女子美術大学
成城大学
聖徳大学
専修大学
仙台医健専門学校
仙台医療福祉専門学校
仙台大原簿記情報公務員専門学校
仙台コミュニケーションアート専門学校
仙台白百合女子大学
仙台大学
仙台ビューティーアート専門学校
仙台幼児保育専門学校
専門学校デジタルアーツ仙台
千葉工業大学
中央大学
帝京大学
東海大学
東京栄養食糧専門学校
東京工科大学
東京調理製菓専門学校
東京薬科大学
東放学園音響専門学校
東北医科薬科大学
東北学院大学
東北芸術工科大学
東北工業大学
東北生活文化大学
東北生活文化大学短期大学部
東北大学
東北電子専門学校
東北福祉大学
東北文化学園大学
成田つくば航空専門学校
日本工学院専門学校
日本工学院八王子専門学校
日本工業大学
日本大学
白鷗大学
八戸工業大学
東日本航空専門学校
福島学院大学
文京学院大学
北海学園大学
宮城学院女子大学
宮城調理製菓専門学校
宮城大学
武蔵野大学
明治大学
目白大学
盛岡医療福祉専門学校
盛岡大学短期大学部

寄附金状況報告

＊2017年3月末現在

	金額（円）	金額比率	件数	件数比率
個人	839,462,190	26.9%	39,418	91.0%
法人・団体	2,281,815,931	73.1%	3,911	9.0%
合計	3,121,278,121	100.0%	43,329	100.0%

2017年3月末時点で約31億円のご寄附をいただきました。多くの法人・団体、個人の皆様よりご支援を賜り、心より御礼申しあげます。
4月以降、約340名の在籍生に対し、奨学金の給付を行ってまいります。必要となる奨学金につきまして昨年改めて検討を行い、これまでの試算を上回る約46億円となることが見込まれております。
いまだ十分な状況とはいえず、引き続きご支援を賜りますようよろしくお願い申しあげます。

皆様からのご寄附は、すべて震災遺児の学費として使わせていただいています。

※奨学生交流費用と運営管理費用についてはスタッフ派遣企業４社の寄附金で賄っております。

■ご寄附方法　「銀行振込」「クレジットカードによる引き落とし」「現金書留」のいずれかをお選びいただけます。みちのく未来基金へのご寄附は寄附金控除の対象となります。

七十七銀行　店舗コード：本店 100　普通預金　口座番号 7951345

三菱東京 UFJ 銀行　店舗コード：仙台支店 314　普通預金　口座番号 0271354

ゆうちょ銀行
ゆうちょ銀行からゆうちょ銀行へのお振込　記号 18150　番号 27549411
他銀行からゆうちょ銀行へのお振込　店名　八一八　店番 818　普通預金　口座番号 2754941

共通　口座名義　公益財団法人　みちのく未来基金
口座カナ名義　ザイ）ミチノクミライキキン

＊上記のいずれかの口座にお振込みください。（お振込みには手数料がかかります）＊受領証発行ご希望の場合は、お電話・FAX もしくは E-mail にて送付先をご連絡ください。

クレジットカードによるご寄附の場合　ホームページアドレスから入り、クレジット決済画面にてお申込みください。　みちのく未来基金　検索

現金書留によるご寄附の場合　郵便局から、当基金宛てに直接現金書留にてご郵送ください。

銀行口座引き落としによるご寄附の場合　口座がある金融機関にお問い合わせください。

≪支援企業・団体≫　5年以上継続で累計５百万円以上もしくは単年で１千万円以上のご寄附をいただいている企業・団体

（株）アール・アイ・エー / （株）アイ・エム・コーポレーション / 旭精工（株）/ （株）足立音衛門 / アトム（株）/ （株）アンズコーポレーション / （株）一如社 / 岩井機械工業（株）
岩瀬コスファ（株）/ エムスリー（株）/ （株）大木 / （株）O２（オーツー）/ 化成工業（株）/ （株）カナエ / （株）関電工 / キヤノンマーケティングジャパン（株）/ （株）協和
（株）国元商会 / コクヨ東北販売（株）/ 小菅（株）/ （株）サナス / 三省製薬（株）/ 山陽技研（株）/ 三和工業（株）/ （株）ＣＤＧ / ＣＫＤ（株）/ （株）ジェーシービー
スターバックス コーヒー ジャパン（株）/ 住友不動産（株）/ （株）世界思想社教学社 / ソニーネットワークコミュニケーションズ（株）/ 大地みらい信用金庫 / （株）宅都ホールディングス
（株）タマディック / （株）土金 / （株）ツルハグループドラッグ＆ファーマシー西日本 / 電鉄通商（株）/ 東洋ビューティ（株）/ （株）東和コーポレーション / （一財）戸沢暢美財団
（株）トレンディ / 日進工具（株）/ （一社）日本少額短期保険協会 / 日本臨床口腔外科医会 / 熱研プラント工業（株）/ （株）ノーリツ / （株）ハウスメイトパートナーズ
（株）ビー・アンド・イー・ディレクションズ / （株）ビューティーネイラー / （株）ファミリーマート / （株）フィールコーポレーション / フクダ電子（株）/ （株）不二興産
不二製油グループ本社（株）/ 富士ゼロックス（株）/ BLEA / 北陸朝日放送（株）/ （株）ホスピタリティエージェント / （株）北海道新聞社 / （株）丸山珈琲 / 三菱自動車 STEP 募金
宮川興業（株）/ 未来航路（株）/ （株）ヤオコー / （株）薬王堂 / 八千代電設工業（株）/ ユニー（株）/ ユニ・チャーム（株）/ ライトハウステクノロジー・アンド・コンサルティング（株）
（株）Reach for the stars / （株）ワイ イー エス / 医療法人社団 和幸会

≪後援企業・団体≫
五十嵐 ICT プロモーション / 岩手日報社 / 河北新報社 / 鈴木友隆公認会計士事務所 / 福島民報社 / 公立学校法人宮城大学　（五十音順）

≪スタッフ派遣企業≫
ロート製薬（株）/ カルビー（株）/ カゴメ（株）/ エバラ食品工業（株）

ご協力いただいている全ての皆様に感謝いたします。

Copyright(c) 2011 公益財団法人みちのく未来基金 All Rights Reserved.

みちのく未来通信

2017年4月
第16号

公益財団法人みちのく未来基金
〒980-0022
宮城県仙台市青葉区五橋２丁目４番１号
エクセルジオ五橋５F
電話番号 022 (724) 7645　FAX 番号 022 (724) 7646
E-mail　info@michinoku-mirai.org
HP　http://michinoku-mirai.org/

みちのく未来基金　第６期生が進学
夢や目標を胸に新たな一歩を踏み出します

2016 年度、第６期生として 122 名のエントリーがあり、107 名の進学先が決まりました。サポーター（寄附者）や在籍生に見守られながら、新たな道を切り拓こうとする彼らにみちのく未来基金は寄り添い、応援していきます。基金発足以降、奨学金給付人数は延べ 637 名となりました。OB・OG を含めて先輩から後輩へ、みちのく生の「わ」はますます広がっていきます。

みちのく未来基金 第６期生進学支援実績

	合計	国公立大学	私立大学	短期大学	専門学校
岩手県	40	4	21	1	14
宮城県	51	2	37	1	11
福島県	6	0	5	0	1
上記3県以外	10	1	5	0	4
合計	107	7	68	2	30



▲ 東北工業大学 八木山キャンパスにて

みちのく未来基金 第6期生の集い
～みんなの想いで広がる「わ」～

２０１７年3月１８・１９日の２日間にかけて、東北工業大学 八木山キャンパス・秋保リゾートホテルクレセントを会場として、「みちのく未来基金　第６期生の集い」が開催されました。進学の決まった８２名の６期生を７８名の在籍生によるサポートスタッフが出迎え、最初は緊張気味だった６期生も、サポートスタッフのフォローでレクリエーションや夕食会を楽しむうちに、次第に表情も和んでいきました。


6期生到着


オリエンテーション


レクリエーション


夕食会

語りの時間

指定されたテーマについて語り合う「語りの時間」。６期生のテーブルにサポートスタッフが進行役として入り、今回は「私を動物に例えると？」、「新生活でやりたいこと」や「将来の夢・目標」などをテーマに、模造紙を使いながらそれぞれの想いを話しました。どのテーブルも会話が弾み、１時間３０分という時間はあっという間に過ぎていきました。最後にはそれぞれが抱いている夢や目標をたまごシートに記入し、１日目が終了しました。



▲全２１テーブル、サポートスタッフの進行でみちのく生の「わ」はさらに広がります


▲夢や目標を記入する6期生


▲テーマ設定やスライド作成は担当のサポートスタッフが行いました

門出の会

６期生が前日の「語りの時間」で決意した将来の夢や目標を発表する「門出の会」。サポートスタッフによる司会のもと、「建築士として復興に貢献したい」、「調理師になりたい」、「考古学者になりたい」など、６期生一人ひとりが想いを込めた夢や目標を発表しました。
会場のサポーター、在籍生からは一人ひとりの発表がされる度、大きな拍手が送られました。






▲ 一人ひとり夢や目標を発表した後、たまごシートを「わ」ボードに貼りました

▲今年の司会は２・４期生が務めました

ランチパーティ

みちのく生がアイデアを出した料理の並ぶテーブルを囲んで、参加者全員が笑顔で語り合い、交流しました。普段は直接会う機会のないみちのく生とサポーターとの交流は、お互いにとって貴重な時間となり、各テーブルでの会話も盛り上がり「わ」はさらに広がりました。






集いを支えてくれたサポートスタッフ

「６期生をサポートしたい」、「サポーターへ感謝の気持ちを伝えたい」との想いから、今年も７８名の在籍生がサポートスタッフとして名乗りを挙げてくれました。特に今回はプログラムの内容検討、招待状や掲示物の作成、会の進行など、企画段階からみちのく生が積極的に関わり、一人ひとりの想いを少しずつ形にしながら、集いの開催を支えてくれました。またすでに社会に羽ばたいた、たくさんのみちのく生 OB・OG も駆けつけ、後輩たちの門出・旅立ちにエールを送ってくれました。



▲「６期生をどう迎えるか？」をテーマに話した、１７日夜サポートスタッフのみで行われた語りの時間


▲オリエンテーションでの一コマ

お祝いの言葉　高森子どもの未来応援団　代表　外崎 浩子 様



私たちは仙台市泉区高森で活動しているお母さんたちの団体です。チャリティコンサートの収益金として２０１１年１０月２１日にお届けした寄附が、みちのく未来基金にとって第一号の寄附であったと知って驚きました。長沼代表理事から「手探りで活動していた中、71,525 円という最初の寄附の数字が忘れられないものとなった」と伺い、今集まっている 30 億円という金額に比べればわずかばかりの金額ではありますが、メンバーは「皆さんが元気で頑張ってほしい」という気持ちでチャリティコンサートを続けています。みちのく生には言葉にできない大きな想いがあると思います。例えば教師や看護師になる方は、震災で辛い経験をした分、子どもたちや患者さんに優しく接してあげてほしいと思います。
震災当時、お腹の中にいた子が卒業するまで共に歩んでいきましょう。

H.S さん（2 期生　岩手県）



振り返ってみると、大学４年間本当に濃い充実したものになりました。第２期生の集いも正直抵抗があったのですが、基金スタッフが顔と名前を覚えてどんどん話しかけてくださって、自分としても緊張がほぐれ、和らぎ、不安が一掃されて、改めて基金スタッフの方々はすごいなと思いました。イベントには頻繁に参加できなかったのですが、年次面談は数少ないすごく楽しい機会でした。基金スタッフ、サポーターの皆さんには感謝しています。４月からは鉄道会社で働きます。配属は関東の駅になるのですが、乗務員になる時に地元に戻ることができるので、長期的な目標を「新幹線の運転士になる」と掲げいずれは地元東北に貢献し、支えていければと思っています。５期生に弟がおり、妹もいずれ入ってくるので、今度は支える側になりますが、その分一生懸命頑張っていきますので、今後ともよろしくお願いします。



N.T さん（2 期生　宮城県）

４月からは宮城県内の病院に就職が決まりました。こうして４年間を無事に終えることができ、この場に立つことができているのはたくさんの方々のご支援があったからだと思っています。皆さんにいただいたこと、教えていただいたことを、今後にたくさん活かしていきたいと思います。そして患者さんの機能や言葉の改善だけでなく、患者さんの心やそのご家族の心も支えられるような言語聴覚士になれるよう頑張っていきます。本当に４年間のご支援ありがとうございました。

N.M さん（2 期生　宮城県）



４年間支援していただいたサポーターの皆さん、基金スタッフの皆さんありがとうございました。私が基金に入った当初に書いた目標が「自分の夢や目標を見つけること」だったのですが、実は未だにそれが明確に言語化できていません。ですが、４年間を通して基金で自分の目標に向かって日々努力をしていく仲間たちを見て、夢や目標というのが、自分の頑張る力になるものだと実感することができました。自分はまだまだ精神的に未熟なところがあるのですが、これから社会人になるので、私たちを支えてくださった皆さまのように意志を持って社会の為に努力できる人間になっていきたいと思います。ありがとうございました。



Y.M さん（2 期生　宮城県）

仲良しの友達がみんな一昨年、去年に卒業してしまい、自分はまだまだ先かなと思っていたら、あっという間に今日が来てしまったなという思いです。たくさんのサポーターや基金スタッフの温かい支え、またたくさんの友達との出会いがなければ、今の自分はなかったのではないかなという気持ちです。楽しいこともたくさんあったのですが、夜には部屋で震災の時の話を振り返ったこともありました。みんなすごく辛いことがありながらも、夢に向かって頑張っているのだということをすごく身近に感じ、「自分も頑張らないといけないな」という気持ちでここまで頑張ってくることができました。春から看護師として働きますが、私よりも辛い思いをしている患者さんやご家族の方はたくさんいらっしゃると思います。自分が辛い思いをしたからこそ、気持ちに寄り添うことができると思うので、どんなに辛い思いをしても「いつかいいことがある」という気持ちを患者さんや家族の方に伝えながら、一緒に前を向いて頑張っていけるような看護師になりたいと思います。

H.M さん（2 期生　岩手県）



４年間でたくさんのことを学びましたし、たくさんの友達ができ、たくさんの思い出ができました。この４年間は、基金スタッフ、サポーターの皆さんからいただいた４年間だと思っています。本当にありがとうございました。震災当時は夢を持つことが贅沢というか、なかなか難しかったのですが、この４年間があったお陰で夢を持つことができました。４月から社会人になりますが、皆さんからいただいた４年間を活かして精一杯頑張る姿を見せることが少しでも恩返しに繋がるかなと思いますので、これからもどうぞよろしくお願いします。

M.M さん（2 期生　岩手県）



第２期生の集いの時に「臨床検査技師と臨床工学技士の２つの国家資格を持ったうえで岩手県の医療に貢献したい」という夢を言ったような気がするのですが、４年間勉強して岩手県の病院で臨床検査技師として働くことが決まっています。本当にこの４年間頑張れたのはサポーター、基金スタッフ、スタッフ OB・OG、みちのく生のみんなのお陰だと思います。本当にありがとうございました。これからはみちのく生 OG としてみちのく生を支えていく立場になると思っています。みちのく生、サポーター、基金スタッフの皆さんと一緒に頑張っていきたいと思いますので、これからもよろしくお願いします。本当に４年間ありがとうございました。

旅立ちの会 ～羽ばたく君へ～





2017年３月、１～５期生計90名がみちのく未来基金を卒業しました。
第６期生の集い２日目、19日に行われた「旅立ちの会」には25名が参加し、サポーター、みちのく生、基金スタッフの前でこれまでの感謝の気持ちと今後に向けての決意を話してくれました。



M.K さん（4 期生　岩手県）

４月から学校給食の仕事をします。調理の勉強ができたのはみちのく未来基金を支援してくださった方々のお陰です。本当にありがとうございました。

M.K さん（4 期生　岩手県）



４月からは声優事務所で研究生としてレッスンを受けながら、声優の活動をさせていただくことになりました。たくさんのご支援と応援ありがとうございました。



A.S さん（4 期生　宮城県）

この２年間にわたるたくさんのご支援ありがとうございました。これから声優の養成所生として、自分の夢である声優を目指して１日でも早くデビューできるように頑張っていきます。
本当にありがとうございました。

N.S さん（4 期生　宮城県）



これからは埼玉県のお店で美容師として頑張っていきます。私の唯一の取り柄は元気なので、その取り柄を武器に美容師として埼玉県で頑張っていきます。２年間たくさんのご支援ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。



A.S さん（4 期生　岩手県）

４月から保育士として働きます。現場で働くということになり、何事も子どもたち目線で考えて行動をし、子どもたちのことを一番に思った保育ができるよう頑張っていきます。以前から抱いていた夢を叶えることができ、とても嬉しいです。２年間ご支援していただき、本当にありがとうございました。

M.C さん（4 期生　宮城県）



２年間の学校生活はとても忙しく、でも楽しくてとても充実した学校生活になりました。
春からは保育園に勤めることになりました。楽しくて笑顔の溢れる保育士さんになりたいと思っています。２年間温かいご支援ありがとうございました。



K.H さん（4 期生　宮城県）

４月から登米市にあるペットサロンで働きます。小さい頃から動物が好きで、母と約束した「トリマーになる」という夢を実現することができました。社会人として働くので、また夢に向かって頑張りたいと思います。２年間ありがとうございました。

H.Y さん（１期生　岩手県）



１年間休学していたこともあり卒業まで５年かかりましたが、諦めずに復学して無事に大学を卒業できて、本当に良かったと思っています。休学、復学する時もサポーター、基金スタッフ、そしてかけがえのない仲間が支えてくれたお陰です。本当にこの大学生活は充実していました。４月からは保健師の資格を取るべく名古屋の学校に進学することになりました。あと１年間は学生ですが、立派な医療人として看護師、保健師になりたいと思います。弟も６期生としてこの４月に入りました。これから何年も続いていくみちのく未来基金ですが、私も夢に向かって頑張る姿をこれからも応援していきたいと思います。

K.A さん（２期生　宮城県）



震災で辛いことも色々ありましたが、震災の経験がなかったら出会えなかった人、できなかったことがたくさんありました。基金でも大学でも大切な友人ができて、基金の存在には感謝しています。第２期生の集いでけがをした関係で遅れてみんなとも少しずつ仲良くなったのですが、その時に基金スタッフの皆さんが支えてくれたお陰でこうして仲良くすることができ、こうして泣いてしまうくらい基金が好きになりました。あの時思ってもみなかったのですが、私が作った「はなぴよ」をみんなに愛してもらうなど、想像もできないくらい嬉しいことがたくさんありました。これからはみちのく生ではなくサポーターとして支援する側になりますが、これからも基金を支え愛していきます。６期生のみんなにも泣いてしまうくらい基金を愛せるようにイベントにも参加してもらいたいと思います。

S.A さん（２期生　岩手県）



高校卒業する時に「助産師になりたい」という明確な夢がありつつも、看護師の専門学校に進学した為、看護師の実習や国家試験の勉強をしながら、何回もくじけそうになりました。でもたくさん応援してくださる方や仲間、年次面談で毎回目標を再確認してここまで来ることができました。分娩に３０件近く入り、今ここに立っています。どの妊婦さん、ご家族も１０カ月間その子に大切に想いをかけながら懸命に分娩に向かい、生まれた後も一生懸命に育てています。私は高１で被災しましたが、６期生は小６になる時にお父さんお母さんと別れて、私たちよりも親と関わる時間が短く、親の見本というのも少ないと思います。お父さんお母さんになっているみちのく生も増えてきていますが、今後育児に苦しんだり困ったりすることもあると思うので、助産師という目標を掴んだ次の私の目標は、そのようなみちのく生を支え、家族としての成長を見守っていくことです。

Y.U さん（２期生　宮城県）



これまで何か恩返しをしたくて発送のお手伝いやイベントに参加させていただいていたのですが、いつの間にか基金スタッフの皆さんとお話することが楽しくて参加するようになっていました。親に話さないこともたくさん聞いてもらって、家族と同様に大切な存在です。将来は基金スタッフの皆さんやサポーターの皆さんのように、誰かに幸せを分けてあげられるような大人になりたいと思います。楽しい大学４年間でした。本当にありがとうございました。

K.O さん（２期生　岩手県）



４月から東京の食品会社に勤めることになりました。そこは僕がどうしても入りたかった会社だったので、本当に嬉しかったです。それを基金スタッフの皆さんに報告した時に、自分のことのように喜んでくださって「あぁ、この基金にいてよかったな」と本当に思いました。実際に基金の存在は一言で表せられないような場所で、自分を出せる温かみがあります。その基金をご支援いただいているサポーターの皆さんに見守られながら、４年間で卒業をして自分の歩みたい道に進むことができました。本当にありがとうございました。



R.O さん（２期生　岩手県）

春からは内定をいただいている証券会社で働きます。私が大学に入学し４年間過ごし、卒業し、就職できたのは基金スタッフの皆さん、サポーターの皆さんのおかげだと思っています。このご恩と感謝は一生忘れません。春から社会人として頑張ります。本当にありがとうございました。

T.O さん（２期生　宮城県）



この４年間を振り返ると本当に濃い４年間でした。４年前、第２期生の集いに参加をしたときは不安でしたが、そこから基金と関わったことでより多くの出会いがありました。特に印象に残っているのは「みちのくフラワープロジェクト」です。はじめは私たちだけでできるのかすごく不安でしたが、たくさんの方々にご支援いただきありがとうございました。また小学生の頃に始めた軟式野球も続けることができました。基金をはじめ多くの方のご支援によるものだと思っています。４月から通信会社で働くことが決定しました。勤務地は東北から離れますが、できる限り基金をサポートしていけるように頑張ります。最後になりますが、長沼さん、基金スタッフ、みちのく生、サポーターの皆さま本当にお世話になりました。

M.K さん（２期生　岩手県）



これから先輩たちの技術や知識を習得して、より良い看護師になれるようたくさん学んでいきたいと思います。また認定看護師なども取り、将来はできるだけ地域の方々の意見を聞いて、地域で働く看護師になりたいと考えています。私が初めて集いに参加した時は不安と緊張で「正直、参加したくないな」という気持ちがありました。でも４年間、集いや夏のイベントなどに参加してたくさんの友達ができ、すごくいい場所だなと思いました。今ここに私がいるのは友達、家族、基金スタッフ、サポートしてくださる方々のお陰だと思っています。４年間ご支援いただきありがとうございました。

K.K さん（２期生　宮城県）



４年前、第２期生の集いに参加した時は本当に行きたくなくて、バスの中でも「早く終わらないかな」と思っていました。しかし集いに参加してみて、こんな自分から話そうとしない無愛想な男に、基金スタッフの皆さんは臆せず話しかけてきてくれて、本当に助かった思い出があります。そこから毎年サポートスタッフとして参加して、様々な経験ができました。これからはサポートスタッフとしてではなく、卒業生として基金の力になれるような人になりたいと思っています。この４年間本当にご支援ありがとうございました。

H.K さん（２期生　大阪府）



震災当時大阪で寮生活を送っていたので、被災した時は宮城県におらず地元も違い、ここにいるみちのく生と境遇が異なりました。大学２年生の後半から積極的にイベントに参加するようになり「何でもっと早く来なかったのだろう？」と思っています。みんなのいう基金スタッフの底知れない愛は重々感じたのですが、それと同様に大阪弁のきつかった僕を受け入れてくれたみんなは、僕が心を開けば開くほど返ってくるという温かい空間です。集いも３日間、夏の集いも２日間でトータル２週間ほどしか一緒に過ごしていないのですが、堂々と「僕の友達です」という仲間がこの集いでできて、本当に幸せだったなというのが率直な気持ちです。
当初はざっくりと「芸能界に飛び込みたい」という夢があり、３年次には大学と並行して夜は養成所で過ごしました。去年の６月に事務所に所属することができ、少しずつですがお仕事をさせていただいています。春からは下積みになりますが、本当にワクワクしかしていません。僕の目標は「映画に出る」ということで、そこに向けてハングリー精神むき出しで、根拠のない自信はあるので、みんなに負けないように頑張っていきたいと思います。

T.K さん（２期生　宮城県）



４月からは神奈川県で社会人として働きます。本当にこの４年間は色々なことがあり、かなりどん底に近いことも起こったのですが、基金のお陰でここまでやってくることができました。これからはサポーターとして基金を支えられるような人間になりたいと思います。本当にこれまでありがとうございました。



N.S さん（２期生　宮城県）

４月からは看護師として働きます。私にとってみちのくはすごく落ち着き、色々と教えてくれて「今後もずっと関わっていきたいな、関わっていかないと」と思える場所です。たくさんの友達もできて今更ながら「もっとみんなと楽しく遊べたらよかったな」と思いました。私がこの場に立っていられるのは、サポーターや基金スタッフの皆さんのお陰です。本当にありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。